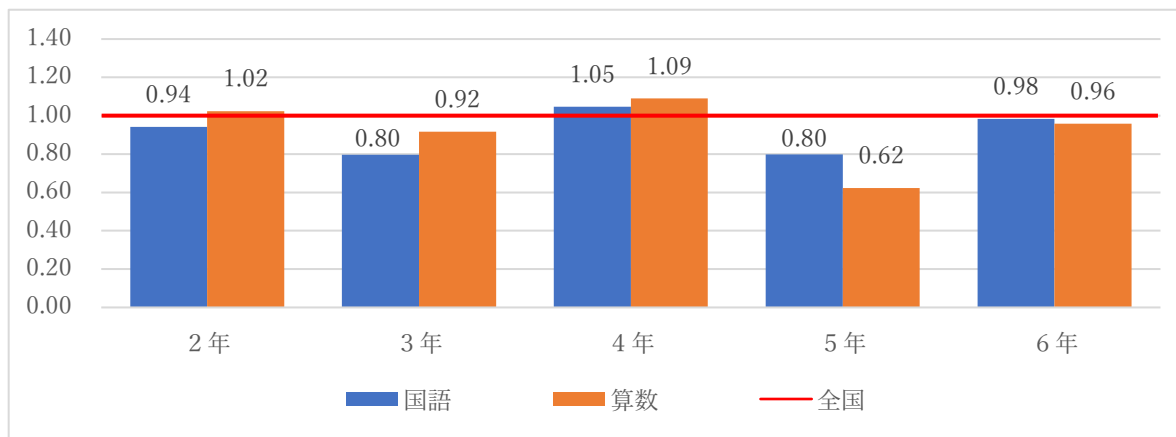


## 令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

中木田中学校区 楠根小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

|             |     |                                                                                                                                                  |
|-------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習到達度調査     | 国語  | 学年間で領域ごとの正答率にばらつきが見られる。教科書を丁寧に音読し、考える時間を確保したうえで、事柄の順序や内容の中心を把握する練習や、5W1Hや読む人を意識しながら書く練習等、伝えたい内容を整理して書く学習活動の充実を図っていく。                             |
|             | 算数  | 2、4年はほぼ全ての領域で全国を上回っていたが、他の学年では、全国を下回る結果となった。特に「図形」領域において、定義や作図方法が定着していないので、コンパスや分度器の使い方を繰り返し指導していく。                                              |
| 全国学力・学習状況調査 | 国語  | 「情報の扱いに関する事項」は全国を大きく上回っていたものの、「読むこと」「書くこと」領域については、課題が見られる。授業では音読の時間を設定するとともに、書く活動の充実を図る。また、短答や記述形式にも課題が見られるので、何を問われているかを意識させながら問題に取り組む活動を設定していく。 |
|             | 算数  | 「変化と関係」の領域は全国を上回ったものの、「図形」領域は大きく下回る結果となった。今後、図形の性質を確認するとともに、確実な知識・技能の定着を図るためにICTを用いた図形の操作など算数的活動を多く取り入れていく。                                      |
|             | 質問紙 | 「読書をしていますか」の質問で2時間以上読んでいる児童が一割以上、「新聞を読んでいますか」の質問に、毎日読んでいると答えた児童も一割いた。引き続き、読書や読む活動を進めていく。                                                         |

○学力向上の取組

### 【中学校区】

中学校区3校での合同研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学6年生の中学校登校日を設定するなど、小中一貫校として9年間を通した取組を推進している。

### 【学校】

国語科・算数科を中心に講師を招聘し、全教員が研究授業を行う。また、授業公開週間を実施し、校区で共有した4観点（聞く力・伝える力・つながる力・学ぶ力）で授業を参観し、教職員同士が学び合い、高め合う機会をつくる。児童の基礎学力を定着させるため、習熟別指導や放課後学習の充実を図る。